

# みみかわ河原番

(発行)耳川水系総合土砂管理に関する評価・改善委員会事務局  
宮崎県土整備部河川課 宮崎市橋通東2丁目10番1号  
TEL 0985-26-7186 FAX 0985-26-7317



## みみかわ河原番とは

「耳川をいい川にする」ことを目標に、森林（もり）から海まで流域一体となって実施している各種取組を紹介するとともに、その取組の評価結果や改善状況を流域住民の皆様にお知らせし、**関係者が一体となって、これからの耳川を見守っていくための広報紙**です。（年1回発行）

### 【令和7年の取組内容】

- 令和7年 3月 18日 第13回 耳川水系総合土砂管理に関するワーキンググループ 開催
  - 令和7年 6月 昨年のだム通砂運用結果について地元説明チラシを配布
  - 令和7年 7月 28日 第14回 耳川水系総合土砂管理に関する評価・改善委員会 開催
  - 令和7年 8月 24日 第14回 耳川フェスティバルin日向 開催
- ※令和7年はだム通砂運用の実施無し（通砂実施判断基準の流量超過が見込まれるような台風出水が発生しなかったため）

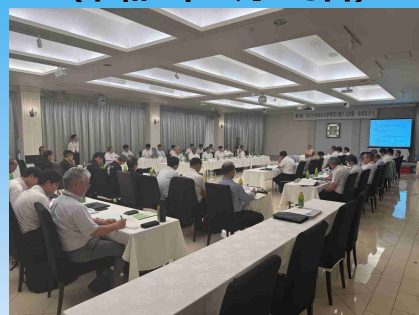
### 第13回耳川水系総合土砂管理計画に関するワーキンググループ（令和7年3月18日）



会議状況（美郷町西郷ニューホープセンター）



### 第14回耳川水系総合土砂管理に関する評価・改善委員会（令和7年7月28日）



会議状況（ホテルベルフォート日向）



### 第14回 耳川フェスティバル in日向

耳川流域では、平成23年度に「耳川水系総合土砂管理計画」を策定し「耳川をいい川にする」ための様々な取組を進めているところです。  
この取組の一環として、耳川のあるべき姿を流域の皆様と共有し、地域に根ざした川づくりを推進することを目的に、平成24年度から耳川フェスティバルを開催しています。  
今年度は、日向市において、第14回の耳川フェスティバルを以下のとおり開催しますので、奮ってご参加ください。

**メイン会場** 道の駅 とうごう **日時** 2025.8.24(日) 10:00～ 16:00

**プログラム**  
9:15 東郷町子どもたち：道の駅とうごうどうぶつ館前集合  
9:30 美郷町子どもたち：美郷町役場集合  
10:00 出発（西郷だム）

**閉会式**  
西郷だム見学  
森林について（講話）  
そば打ち体験・試食のついでに、豊食  
流域治水について（模型実演）  
橋つわみ取り体験（脱臼）

**閉会式**  
14:30 東郷町子どもたち：道の駅とうごう前集合  
15:15 美郷町子どもたち：美郷町役場解散



【主催】耳川フェスティバル実行委員会  
日向市・美郷町・越後村・桂葉村・耳川流域森林組合・宮崎北部森林管理署・耳川水系農業協同組合・九州電力株式会社・宮崎県  
問い合わせ先：事務局（宮崎県日向土木事務所）TEL:0982-52-4174  
Email:hyuga-doboku@pref.miyazaki.lg.jp(右側中央QRコード)

# 第14回 耳川水系総合土砂管理に関する評価・改善委員会の検討結果(令和7年7月28日)



第14回 評価・改善委員会において、耳川水系の山地から河口海岸までの各領域における、令和6年度の各種取組について、「耳川通信簿」により評価しました。

その結果、令和6年度は平成11年以降の26年間で4番目に大きい出水（台風10号）が発生しましたが、**土砂災害発生件数・被害家屋棟数等は、同規模出水と比較すると大きく減少しています。**

しかしながら、近年では、上流域や支川から大量の土砂が流入しており、関係機関へのヒアリングでは生物の生息生育環境等が悪いとの回答が多い状況です。今後は、**本計画の目標である“森林とダムと川と海のつながり”をより強く意識し、モニタリング・評価の項目、手法等の見直しについて、行動計画の見直しも含め検討**していきます。

## 【耳川通信簿】

耳川流域全体の総合評価(令和6年度)

			方向性				
			改善傾向【A】	維持傾向【B】	悪化傾向【C】		
			3点	2点	1点		
状態	良い状態【a】	3点	3.0点	2.5点	2.0点	1.5点	1.0点
	普通状態【b】	2点	2.5点	2.0点	1.5点	1.0点	
	悪い状態【c】	1点	1.5点	1.0点			

河口・海岸領域	山地領域	R6重心位置	ダム領域	河道領域	R5重心位置
---------	------	--------	------	------	--------

凡例

- : 良いレベル【○】、
- : 普通レベル【△】、
- : 悪いレベル【×】

※「耳川通信簿」の詳細については、県庁ホームページに掲載しています。

耳川水系総合土砂管理

検索

## 【九州電力による取組み】ダム通砂運用について

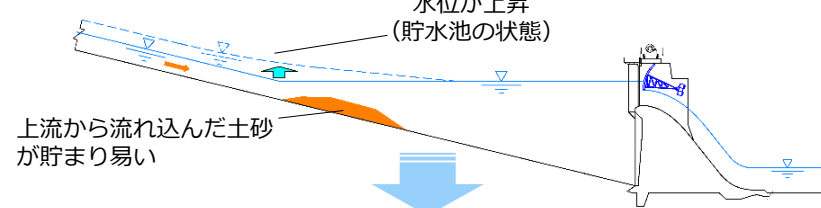
◆山須原ダム・西郷ダムでは、洪水時に上流から流れてくる土砂をダム下流に通過させる（ダム通砂）ための改造工事を実施しました。

★平成29年度の出水期（台風時）から西郷ダム、大内原ダム、令和3年度の出水期（台風時）から山須原ダムで「ダム通砂運用」を開始しました。

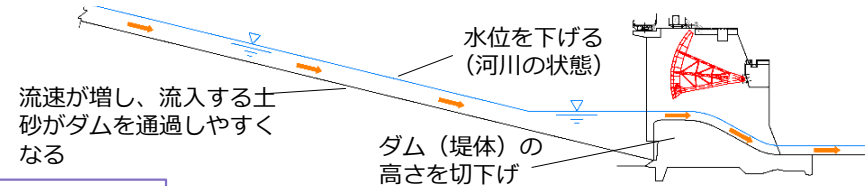
### ダム通砂運用とは

ダム通砂運用は、台風による出水時にダム貯水池内の水位を下げることで、貯水池を本来の河川のような状態にし、流れる水の力を利用して貯水池内に流入する土砂をダム下流へ通過させる運用です。

【従来運用（イメージ）】



【ダム通砂運用（イメージ）】



### 山須原ダム

